

新生活に慣れた頃こそ注意しましょう



4月から始まった新しい生活にも少しずつ慣れ、気持ちに余裕が出てくる5月。この「慣れ」の時期は、交通事故が増えやすいといわれています。通勤・通学ルートに慣れ、周囲の状況を“見えているつもり”になってしまうことで、確認不足や判断の遅れが起こりやすくなるためです。改めて、日々の運転や歩行の中で気をつけたいポイントを見直してみましょう。

■交差点では「一度ゆっくり」が基本

交差点は事故が最も多い場所です。信号が青でも、横断しようとする歩行者や自転車、右左折車の動きなど、注意すべき点は多くあります。慣れた道ほどスピードが出やすくなりますが、一度速度を落とすなど、周囲をしっかりと確認する習慣を続けましょう。



■自転車・歩行者の動きに早めの気づきを

5月は気温が上がり、自転車利用が増える季節です。特に学生の自転車事故は出会い頭の衝突が多く見られます。ドライバーの皆さんは、
・路肩の自転車 ・歩道から車道へ出てくる歩行者
・止まらずに横断しようとする自転車
などに早めに気づけるよう、視野を広く保つことが大切です。



■新生活の疲れが出る時期です

5月は、環境の変化による疲れが出やすい時期でもあります。疲れは判断力の低下につながり、ブレーキの遅れや見落としを招きます。「少し眠い」「集中できない」と感じたら、無理をせず休憩を取りましょう。長距離運転の予定がある場合は、こまめな休憩と余裕のある計画を心掛けてください。



■歩行者・自転車の皆さんへ

歩行者や自転車も、慣れた道ほど注意が薄れがちです。 ・横断前の左右確認 ・夜間のライト点灯 ・スマートフォンを見ながらの移動をしない といった基本的な行動が、自分の身を守ることにつながります。



新生活に慣れたこの時期こそ、交通安全への意識をもう一度見直すタイミングです。「慣れた道こそ、ゆっくり・しっかり確認」をしましょう。